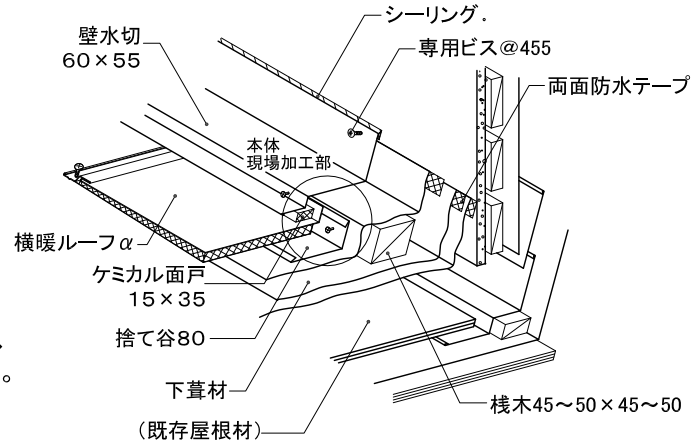
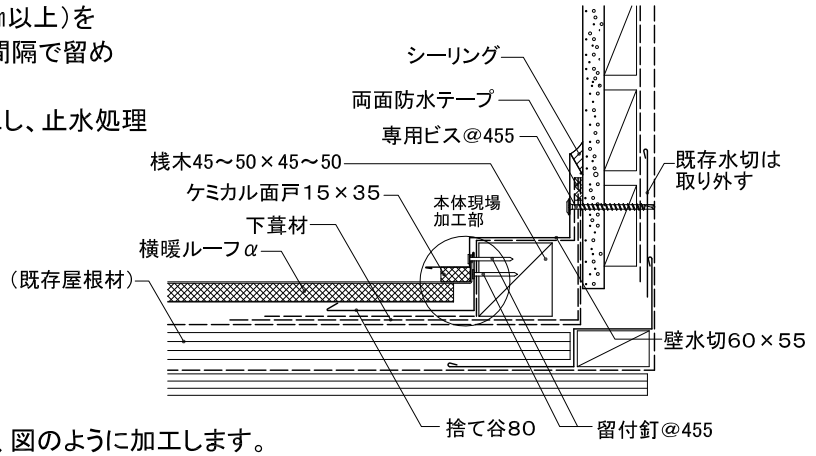
横暖ルーフα	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

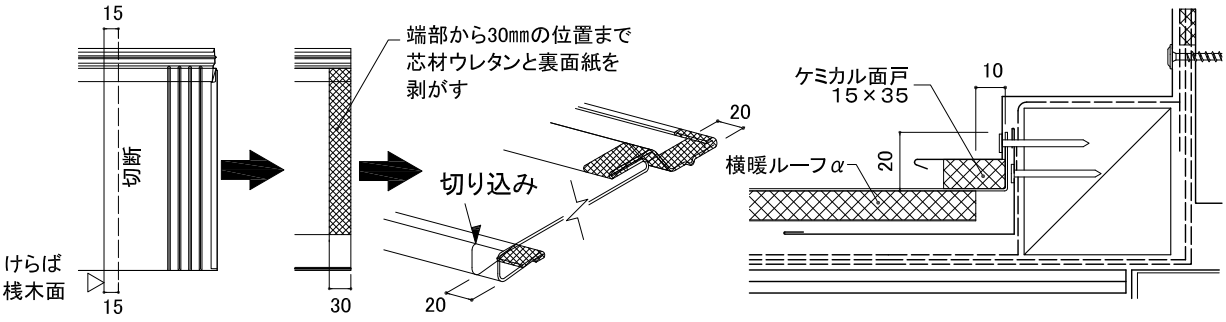
9）下屋根部　①流れ側　壁水切60×55＋捨て谷80

●既存屋根材に、下葺材を張ります。
（下葺材の壁止まり部は必ず既存壁まで立ち上げ、両面防水テープで留めます。）
●桟木45～50mm×45～50mmを取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
●捨て谷80は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32mm以上）を用いて、455mm以下の間隔で桟木に留め付け、図のように加工した横暖ルーフα本体を施工します。
●ケミカル面戸15×35は図のように貼り付け、壁水切60×55をかぶせるように施工します。既存壁には専用ビス（ステンレスドリルビスφ4．4mm×55mm）、桟木には留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32mm以上）を用いて、それぞれ455mm以下の間隔で留め付けます。
●壁水切上部にはシーリングを施工し、止水処理を行ってください。





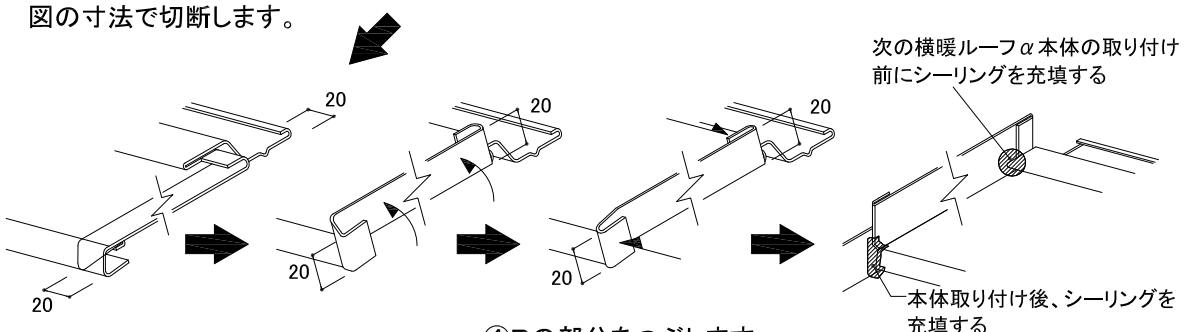
■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフα本体の壁付部分は、図のように加工します。



①壁桟木面から図の寸法で切断します。

②網掛け部分を切り落とします。

部分断面図



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。

④Rの部分をつぶします。

⑤接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。